

【授業の到達目標および概要】

授業のテーマ及び到達目標：臨床検査技師が高い専門性をもって業務に徹し、多職種連携に加わって活躍の場を広げている。さらにタスクシフト・シフティングに関わり、職域が広がった。また、医療安全管理を担える立場に、冷静に計画的に推進できるのは臨床検査技師が適任であるとも言われる。これらを踏まえて栄養士の経験と知識を備えた多様な臨床検査技師としての在り方を考えたい。そのために、臨床検査と病因・病態と臨床検査の関係を多角的視点からアプローチし、解析できるようになる。そして、患者・家族に触れながら検査説明や指導と、並びに調査研究を進め、問題解決能力を養う。必要に応じ、医療機関や訪問診療などのチーム医療の研修を実践しながら、ダブルライセンスの可能性を追求する。高度な専門性を有する職業人としての能力を修得することは、ディプロマポリシーに関連する。

授業の概要：糖尿病を中心に患者・家族に触れ、栄養士と臨床検査技師の在り方を習得する。

【授業計画】 <英語併用可>

- ①② 多職種連携における臨床検査技師の位置づけ—接遇の心得、傾聴の姿勢
- ③④ 医療安全管理について
- ⑤⑥ 糖尿病の病因・病態について
- ⑦⑧ 糖尿病の診断基準と目標、検査
- ⑨⑩ 糖尿病の合併症と治療
- ⑪⑫ 糖尿病の教育指導、自己血糖測定指導
- ⑬⑭ まとめ、発表

【授業外学習】

基礎的な面は復習をし、研究課題に関する文献・資料は予習として読むこと。配布資料は事前に調べ、読んでおき、可能な時間内で自習をすることを勧める。

【成績評価の方法・基準】

課題への取り組みとして、発表や討論(50%)、レポート内容(50%)によって評価する。

【教科書】

必要に応じ指示する。

【参考書】

必要に応じ指示する。

【教材】

必要に応じ配布する。

【備考】

都内近郊の外部のクリニックや病院に出向して研修をする日を設定する。